

令和6年度 中・高連絡協議会

期 日	令和6年10月4日(金)
受 付	14:30~15:00
協議会	15:00~16:00
会 場	会議室

【会次第】	司 会	…川副華代子
(1) 校長挨拶	校 長	…永田 英樹
(2) 職員紹介	教 頭	…川副華代子
(3) 議 事		
1) 本校の現状について		
ア) 進路指導について	進路指導	…小佐々 武
イ) 普通科について	教 務	…牛之濱聖仁
ウ) 商業科について	商 業 科	…中原 千穂
エ) 美術・工芸科について	美術工芸科	…立井 匡樹
2) 令和7年度入学者選抜について	教 務	…牛之濱聖仁
(4) その他		
(5) 質疑応答		
(6) 諸連絡		
(7) 閉会		

目 次

P 1	……………	沿革
P 2	……………	教育方針
P 3～4	……………	生徒の実態／バス時刻表
P 5～9	……………	令和7年度 募集要項
P 10～13	……………	本校の現状 1) 進路指導について 2) 普通科について 3) 商業科について 4) 美術・工芸科について
P 14～16	……………	出願書類の記入の仕方について
P 17	……………	特別選抜 自己推薦①② (入学願書)
P 18～19	……………	特別選抜 自己推薦①② (自己推薦書)
P 20	……………	一般選抜 (入学願書)
P 21	……………	写真票
P 22	……………	志願者名簿
P 23	……………	送り状
P 24	……………	調査書
P 25～27	……………	通学区域について／志願の手続きについて
P 27～28	……………	障害等のある受検者への対応について (手続き、配慮措置申請書) (障害者差別解消法に伴う施設等設置状況について)
P 29～34	……………	県外からの入学志願について (資格・手続き等)
P 35～36	……………	受検取消届、入学辞退届
P 37	……………	令和7年度入学生教育課程表
P 38	……………	年間諸経費 (参考：令和6年度入学生)
P 39	……………	波佐見町支援事業の紹介
P 40～41	……………	質疑応答

長崎県立波佐見高等学校の沿革

(1) 長崎県立川棚高等学校下波佐見分校

- 昭和24年 6月 1日 長崎県立川棚高等学校下波佐見分校設置認可
下波佐見村立波佐見中学校校舎の一部を借用し、長崎県立川棚高等学校下波佐見分校
(昼間定時制普通科1学年1学級)開校
- 昭和27年 3月30日 下波佐見中学校仮校舎より村立下波佐見小学校校舎の一部及び村立公会堂へ移転

(2) 長崎県立川棚高等学校波佐見分校

- 昭和31年 6月 1日 町村合併に伴い、長崎県立川棚高等学校波佐見分校と校名変更
- 昭和46年 4月 1日 1年制より全日制課程商業科(1学級)に課程・学科の変更
- 昭和49年 3月31日 定時制課程を廃止
- 昭和49年 4月 1日 全日制普通科(1学級)設置
- 昭和51年 3月28日 分校校舎南中学校跡地へ移転
- 昭和51年 4月 1日 全日制普通科1学級増、普通科2学級、商業科1学級となる

(3) 長崎県立波佐見高等学校

- 昭和52年 4月 1日 長崎県立波佐見高等学校開校
- 昭和56年11月20日 創立30周年記念並びに新校舎落成記念式典挙行
- 昭和58年 4月 1日 全日制普通科1学級増、普通科3学級、商業科1学級となる
- 平成 4年 6月12日 陶心館竣工
- 平成 7年 4月 1日 普通科に陶芸デザインコース(定員20名)設置
- 平成 8年 8月 8日 第78回全国高等学校野球選手権大会出場 ベスト8
- 平成 9年 3月25日 野球雨天練習場竣工
- 平成13年 8月11日 第83回全国高等学校野球選手権大会出場(夏 2度目)
- 平成18年10月21日 創立30周年(開校58周年)記念式典挙行
- 平成23年 3月23日 第83回選抜高等学校野球大会出場(春 初出場)
- 平成25年 8月 3日 第37回全国高等学校総合文化祭長崎大会弁論部門主幹校
- 平成26年 4月 1日 美術・工芸科が新設 普通科3学級、商業科1学級、美術・工芸科1学級の5学級編制となる
- 平成29年 8月 8日 第99回全国高等学校野球選手権大会出場(夏 3度目)
- 平成29年10月23日 第64回国際理解・国際協力のための高校生主張コンクールで法務大臣賞(全国2位相当)受賞
- 平成30年 4月 1日 普通科1学級減、4学級編制となる
- 令和 元年 7月29日 第43回全国高等学校総合文化祭佐賀大会弁論部門において優良賞(11位)を受賞
- 令和 2年10月24日 第67回国際理解・国際協力のための高校生主張コンクールで法務大臣賞(全国2位相当)受賞
- 令和 4年 4月10日 第150回九州地区高等学校野球長崎県大会 優勝
- 令和 4年 7月25日 第104回全国高等学校野球選手権長崎県大会 ベスト4
- 令和 4年 8月 3日 第46回全国高等学校総合文化祭東京大会弁論部門において優良賞(10位)を受賞
- 令和 5年 8月 3日 第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会美術工芸部門・弁論部門参加
- 令和 5年 9月15日 バリアフリースイッチ設置工事完成

令和6年度 波佐見高校教育方針等

1 校訓 『自律・積極・究理』

2 教育方針

- (1) 生徒一人ひとりの個性を磨き、豊かな社会性やたくましい精神力、ひいては主体的に学び、行動する意欲や能力を育てる。
- (2) 学科の特色ある教育活動を実践し、学科間の連携を密にして進路目標の実現を目指す。
- (3) 地域と連携したキャリア教育を実践し、望ましい勤労観・職業観や社会奉仕の精神を育てる。
- (4) 学校における組織的な安全管理の充実を図り、安心安全に学び、絆づくりと居場所となる学校づくりに努める。
- (5) 学校に対する生徒・保護者の誇り、地域からの信頼のために、時宜を得た広報活動を展開する。

3 努力目標

- (1) 規範意識を向上させ、授業規律を確立する。
- (2) 協働的な授業を主に、わかる授業を実施し、達成感と充実感を味わわせることで、自己肯定感を向上させる。
- (3) 陶芸教育を通して感性を磨くと共に、地域との連携、協働により地域を知り、地域に貢献しようとする態度を養う。
- (4) キャリア教育を充実させ、早期に進路を決定させ、その実現に努める。
- (5) 文武（芸）両道と部活動の活性化に努める。
- (6) 学校行事や生徒会・部活動への主体的な取組を促し、チャレンジ精神を涵養する。
- (7) 安全の日を設定し、安全管理の充実にも努めるとともに、教育環境の整備と美化に対する意識の高揚に努める。
- (8) 笑顔と活力漲る、同僚性の高い職場づくりに努める。
- (9) きめの細かい生徒理解や教育相談体制を充実させ、人間の尊厳に向き合う人権教育、命を守る「心の教育」の推進を図る。
- (10) Web サイト、波高通信等を中心とした広報活動を積極的に行う。

4 スローガン 『チーム波佐見』 ～希望への挑戦～

5 シンボルマーク

平成24年（2012年）4月、「Team HASAMI（チーム波佐見）」をスローガンと決め、それに合わせてシンボルマークを美術科の岩永聡志教諭が作成しました。このマークは、「チーム波佐見」として、生徒はもとより、保護者、教職員、同窓生が一致団結して頑張ることで、波佐見高校のパワーとエネルギーが幾重にも輪を描いて広がり、地域や社会に大きなうねり（波紋）を生み出す様子を表現しています。波佐見高校は、地域とともに歩む元気な学校づくりを目指していきます。



生徒の実態

(令和6年5月1日現在)

1 出身中学校別生徒数

	波佐見			川棚			彼杵・千綿			三川内			早岐			広田			その他			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	8	11	19	5	2	7	1	0	1	2	1	3	6	7	13	1	0	1	21	13	19	44	34	78
2年	17	9	26	4	2	6	1	0	1	1	3	4	6	2	8	6	2	8	27	10	37	62	28	90
3年	5	11	16	9	2	11	0	0	0	0	2	2	7	1	8	2	0	2	14	15	29	37	31	68
合計	30	31	61	18	6	24	2	0	2	3	6	9	19	10	29	9	2	11	62	38	100	143	93	236

2 生徒住居

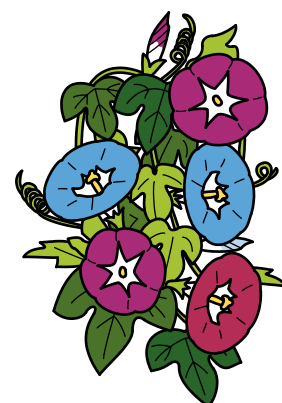
	波佐見	川棚	東彼杵	三川内	早岐	広田	その他	計
男	82	19	2	2	17	10	11	143
女	32	6	1	6	8	4	36	93
計	114	25	3	8	25	14	47	236

3 通学状況

時間 (分)	~10	~20	~30	~40	~50	~60	~90	90~	計
徒歩	8	3	1	0	0	0	0	0	12
自転車	59	14	8	9	3	0	0	0	93
バス	2	21	14	9	8	4	13	1	72
バス JR	0	0	0	3	0	2	0	2	7
バス 自転車	0	0	1	0	0	0	0	0	1
自家用車	17	28	2	2	1	0	0	0	50
自転車 JR	0	0	0	1	0	0	0	0	1
計	86	66	26	24	12	6	13	3	236

4 進路希望状況

	1年			2年			3年			合計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
進学	28	13	41	29	18	47	17	19	36	74	50
就職	9	14	23	30	10	40	20	12	32	59	36
自営 家事	0	0	0	3	0	3	0	0	0	3	0
未定	7	7	14	0	0	0	0	0	0	7	7
計	44	34	78	62	28	90	37	31	68	143	93



バス時刻表

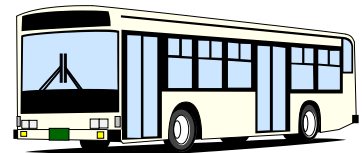
(1) 直行バス利用 (令和6年4月1日現在)

〈登校バス〉

重尾発～高校着 平日のみ		佐々発～高校着 平日・土日祝	
バス停	時刻	バス停	時刻
		佐々バスセンター	06:32発
		大野	06:53
		佐世保駅前	07:10
重尾	07:27発	桜馬場	07:22
早岐駅前	07:34	早岐田子の浦	07:34
上原水源地入口	07:42	上原水源地入口	07:39
三川内駅入口	07:47	三川内駅入口	07:44
宿	07:59	宿	07:56
波佐見高校	08:05	波佐見高校	08:02着

〈下校バス〉

高校発～佐世保駅着		
バス停	第1便 平日・土日祝	第2便 平日のみ
波佐見高校	16:30発	18:51発
宿	16:36	18:57
三川内駅入口	16:48	19:09
上原水源地入口	16:53	19:14
早岐田子の浦	16:58	19:19
桜馬場	17:10	19:31
佐世保駅前	17:24着	19:44着



(2) JR利用+バス利用 (早岐駅～川棚駅 川棚バスセンター～万年橋)

*万年橋から波佐見高校まで徒歩3分

(令和6年4月1日現在)

交通手段	駅	登校	下校①	下校②
JR	早岐駅	07:07発	16:42着	17:33着
		↓	↑	↑
	川棚駅	07:26着	16:20発	17:18発
	千綿駅	07:12発	16:40着	17:29着
西肥バス		↓	↑	↑
	川棚駅	07:24着	16:20発	17:17発
	川棚バスセンター	07:50発	16:16着	17:10着
		↓	↑	↑
	万年橋	08:02着	16:04発	16:58発

万年橋発は17:16, 18:13, 19:02 もあります。

令和7年度 長崎県立波佐見高等学校 入学者募集要項

長崎県立波佐見高等学校
東彼杵郡波佐見町長野郷312-5
TEL 0956(85)3440
FAX 0956(85)6105

1 育成したい生徒像

- ・主体的に粘り強く行動できる生徒
- ・他者と円滑な人間関係を構築できる生徒
- ・他者と協働して地域発展に貢献する意欲を持つ生徒

求める生徒像

○普通科

- ・自分自身の長所を見出し、自己開発に積極的に挑戦する生徒

○商業科

- ・地域発展に関心を持ち、課題解決に意欲的に挑戦する生徒

○美術・工芸科

- ・美術・工芸の高い資質を備え、表現力向上に意欲的に挑戦する生徒

2 特別選抜（自己推薦①、自己推薦②）

1. 実施学科と募集定員等

学科	募集定員	特選定員	割合	選抜区分	出願条件・検査方法	自己推薦①の定員	自己推薦②の定員
普通科	60人	13人	13%	自己推薦①	野球・面接	普通科・商業科で8名以内	3人以上
				自己推薦②	求める生徒像に合致するもの・面接		
自己推薦①	野球・面接			2人以上			
自己推薦②	求める生徒像に合致するもの・面接						
商業科	40人						
美術・工芸科	20人	5人	25%	自己推薦②	評定平均3.0以上 美術の評定平均3.5以上 実技（静物デッサン90分）		5人
計	120人	18人	15%				

2. 志願資格

- (1)「令和7年度長崎県公立高等学校入学者選抜実施要領」（以下「実施要領」）の要件を満たし、かつ本校の「育成したい生徒像・求める生徒像」を理解する者。
なお、県外からの志願者については「実施要領」に従う。
- (2)「自己推薦①」と「自己推薦②」を同時に志願することはできない。
- (3)「自己推薦①」の適用分野は野球部。志願者は、各種大会等で優れた実績を有する者、又は部活動等で優れた資質や能力を有する者であること。
なお、県外からの志願者については「自己推薦①」の対象者から除く。

3. 通学区域

- (1) 普通科……………県全域
- (2) 商業科……………県全域
- (3) 美術・工芸科……………県全域
- (4) 自己推薦①……………県全域

4. 志願手続き

自己推薦①

- (1) 入学志願は、1校に限り、学科は**第2志望**まで希望できる。ただし「美術・工芸科」は対象から除く。
- (2) 入学志願者は、所定様式(下記①～③)を作成し、④を添えて、在籍中学校長または出身中学校長を経て、本校校長に提出する。

- ① 特別選抜(自己推薦①) 入学願書(様式1-1)
- ② 特別選抜(自己推薦①) 自己推薦書(様式2-1)
- ③ 写真票(様式3-6)
- ④ 選抜手数料(2,200円)

自己推薦②

- (1) 入学志願は、1校に限り、学科は**第2志望**まで希望できる。**ただし「美術・工芸科」は第1志望のみ。「普通科」、「商業科」を第1志望とするものは第2志望に「美術・工芸科」は志願できない。**
- (2) 入学志願者は、所定様式(下記①～③)を作成し、④を添えて、在籍中学校長または出身中学校長を経て、本校校長に提出する。

- ① 特別選抜(自己推薦②) 入学願書(様式1-1)
- ② 特別選抜(自己推薦②) 自己推薦書(様式2-2)
- ③ 写真票(様式3-6)
- ④ 選抜手数料(2,200円)

- (3) 県外からの志願者については「実施要領」に従う。

5. 入学願書受付

- (1) 受付期間は、1月14日(火)から1月20日(月)まで(必着)とする。ただし、土日を除く。受付時間は、9時から16時までとする。ただし、最終日は15時までとする。
- (2) 受付場所は、本校事務室(管理棟1階)とする。
- (3) 願書受理の際に、受領書、受検票、選抜手数料領収証書を交付する。受検票は、検査当日に志願者が携行するものとする。
- (4) 入学願書・調査書等を郵送する場合は、必ず**簡易書留**とし、**返信用封筒**(あて先を明記し、切手を貼付したもの)を添えること。また、選抜手数料については、**2,200円分の普通為替**にして同封すること。あて先は**出願中学校の校長あて**とすること。また、**返信用封筒の大きさは長3封筒、切手は簡易書留料金の切手460円分(110円+350円)を貼付**すること。

6. 検査日程等

- (1) 期日
令和7年1月28日(火)

- (2) 日程と検査項目

選抜区分	時刻	9:00~9:30	9:40~11:10	9:40~11:10
	検査項目等	集合・点検・諸注意	面接	実技
自己推薦①		○	○	
自己推薦②	普通科	○	○	
	商業科	○	○	
	美術・工芸科	○		○

- (3) 集合

受検者は9時までに、上履き(中学校のシューズ等)に履き替え、指定の控室に集合する。

(4) 受検上の諸連絡

受検者への注意事項、及び検査場配置図等を1月27日（月）15時から17時まで、本校生徒下足室前に掲示する。

(5) 面接

面接については、個人面接とする。

(6) 実技検査

美術・工芸科 *画用紙、鉛筆、描くモチーフ等はすべて本校で準備する。

静物デッサン（90分）

立方体・円柱・球体などの基本形体を組み合わせて描く。

7. 合格者の取扱い

(1) **1月31日(金)14:00に、本校ホームページにおいて受検番号のみ**を発表する。

電話による問い合わせには応じない。

8. 合格とならなかった者の取扱い

(1) 特別選抜に志願し、合格とならなかった者は、「実施要領」に定める各課程の選抜の手続きにより、改めて希望する高等学校に出願することができる。

(2) 合格とならなかった者が、県内公立高等学校の一般選抜やチャレンジ選抜を志願する場合、選抜手数料は必要としない。

ただし、出願にあたっては、特別選抜の選抜手数料領収証書を、入学願書に添付するものとする。

9. 合格者登校日について

(1) 3月21日（金）12時から、本校にて、入学にあたっての物品販売や入学書類の手続き等の説明がある。**合格者は保護者同伴で登校すること。**

特別選抜の合格発表後、詳細についての関係書類を各中学校あてに郵送する。

3 一般選抜

1. 実施学科と募集定員

学科	募集定員	一般選抜定員	備考
普通科	60人	47～60人	一般選抜定員は特別選抜の結果によって変化する。 最小値は、特別選抜で最大数合格した場合である。
商業科	40人	27～40人	
美術・工芸科	20人	15～20人	
	120人	89～120人	

2. 志願資格

特別選抜の（1）と同じ

3. 通学区域

特別選抜の（1）～（3）と同じ

4. 志願手続き〔見込み〕

(1) 入学志願は、1校に限り、学科は**第3志望**まで希望できる。

(2) 入学志願者は、所定様式（①、②）を作成し、③を添えて、在籍中学校長または出身中学校長を経て、本校校長に提出する。**ただし、特別選抜を受検した者は③ではなく、特別選抜の選抜手数料領収証書を添付すること。**

- ① 一般選抜 入学願書（様式1-3）
- ② 写真票（様式3-6）
- ③ 選抜手数料（2,200円）

5. 入学願書受付

- (1) 受付期間は、2月3日（月）から2月7日（金）まで（必着）とする。
受付時間は、9時から16時までとする。ただし、最終日は15時までとする。
- (2)～(4)
特別選抜と同じ

6. 検査日程等

- (1) 期日
令和7年2月18日（火）、2月19日（水）
- (2) 日程と検査項目

時間帯	2/18（火）	2/19（水）
9：00	集合	集合
9：40～10：30	国語	社会
11：00～11：50	英語	数学
12：55～13：45	理科	面接

面接の終了時刻は未定

- (3) 集合
両日とも9時までに、上履き（中学校のシューズ等）に履き替え、指定の控室に集合する。
なお、昼食を用意すること。
- (4) 受検上の諸連絡
受検者への注意事項を2月17日（月）15時から17時まで、本校生徒下足室前に掲示する。
- (5) 面接
面接については、集団面接とする。

7. 合格者発表

- (1) **3月5日（水）に、本校ホームページにおいて受検番号のみ**を発表する。
電話による問い合わせには応じない。

8. 合格者登校日

- (1) 3月21日（金）12時から、入学にあたっての物品販売や入学書類の手続き等の説明がある。
合格者は保護者同伴で登校すること。
一般選抜の合格発表後、詳細についての関係書類を各中学校あてに郵送する。

9. 追検査

- (1) インフルエンザ等のやむを得ない理由で一般選抜における学力検査を受検できなかった場合、追検査を受検することができる。実施等については、「実施要領」に従う。

4 チャレンジ選抜

1. 実施学科と募集定員

学科	募集定員
普通科	チャレンジ選抜定員は、これまでの選抜において定員に満たなかった場合の不足人数となる。 したがって、定員を充足した場合は選抜を行わない。
商業科	
美術・工芸科	

2. 志願資格

特別選抜の（1）と同じ
ただし、一般選抜で本校を受検した者を除く。

3. 通学区域

特別選抜の(1)～(3)と同じ

4. 志願手続き〔見込み〕

- (1) 入学志願は、1校に限り、学科は**第3志望**まで希望できる。但し、定員を充足した学科を除く。
- (2) 入学志願者は、所定様式(下記①～②)を作成し、③を添えて、在籍中学校長または出身中学校長を経て、本校校長に提出する。ただし、特別選抜または一般選抜を受検した者は③ではなく、既受検の選抜手数料領収証書を添付すること。
 - ① 一般選抜 入学願書
 - ② 写真票
 - ③ 選抜手数料(2,200円)

5. 入学願書受付

- (1) 受付期間は、3月6日(木)から3月10日(月)まで(必着)とする。ただし、土日を除く。受付時間は、9時から16時までとする。ただし、最終日は15時までとする。
- (2)～(4)
特別選抜と同じ

6. 検査日程等

- (1) 期日
令和7年3月12日(水)
- (2) 日程と検査項目

選抜区分	時刻	9:00～9:30	9:40～
	検査項目等	集合・点検・諸注意	面接
チャレンジ選抜	普通科	○	○
	商業科	○	○
	美術・工芸科	○	○

- (3) 集合
両日とも9時までに、上履き(中学校のシューズ等)に履き替え、指定の控室に集合する。
- (4) 受検上の諸連絡
受検者への注意事項を3月11日(火)15時から17時まで、本校生徒下足室前に掲示する。
- (5) 面接
面接については、個人面接とする。

7. 合格者発表

- (1) **3月17日(月)に、本校ホームページにおいて受検番号のみ**を発表する。
電話による問い合わせには応じない。

8. 合格者登校日

- (1) 3月21日(金)12時から、入学にあたっての物品販売や入学書類の手続き等の説明がある。
合格者は保護者同伴で登校すること。
検査当日の集合時に、詳細について説明および文書を配布する。

1)進路指導について ～希望に応じた進路指導～

進路指導の取り組み

1 学習指導

(ア)朝学習

週に2回、朝のSHR前の時間帯に実施

(イ)夏季補習(3年生)

夏季休業中に補習を実施(就職希望者等)

(ウ)新入生学習初期指導(1年合同学習会)

国・英・数の授業の受け方、ノートの取り方、予習の仕方等を学ばせ、実際に学年全員を対象に合同学習会を実施

(エ)模擬試験

基礎力診断・実力診断テスト、看護模試、公務員模試、就職模試など、希望する進路に応じた模試を精選して実施

2 短期インターンシップ

1年生全生徒：12月

2年生全生徒：11月

地元企業での職場体験に参加(2～3日)

3 長期インターンシップ

(ア)夏季休業中+冬季休業中

長期インターンシップ(2～3週間)を実施

- 研修先
- ①ハウステンボス
 - ②株式会社エレナ
 - ③佐世保青果
 - ④国際運輸

(イ)土日祝日(※今年度10月より)

長期インターンシップ(通年)を実施

※来年度は、インターンシップは全て「探究型インターンシップ」へ移行。

4 進路ガイダンス

(ア)大学・専門学校別個別説明・相談会実施

(イ)体験型の就職ガイダンスを実施

5 その他

(ア)進路に応じた添削指導

(イ)全職員による面接指導

(ウ)キャリアサポートスタッフによる就職に関する相談指導

進路状況(令和5年度卒業生)

大学	◎長崎県立大学	○長崎国際大学
	○長崎純心大学	○長崎総合科学大学
短大	○九州国際大学	○日本体育大学
	○鈴鹿大学	◎至誠館大学
	●長岡造形大学	●東京造形大学
	●東北芸術工科大学	●京都芸術大学
	●九州産業大学短期大学部	●大阪芸術大学短期大学部
看護医療系	○長崎リハビリテーション学院	
その他の専門学校等	○福岡ビジョナリーアーツ ○佐世保高等技術専門学校 ○麻生美容専門学校 ○ASOポップカルチャー専門学校 ●日本デザイナー学院九州校 ●九州文化学園調理師専門学校 ●桑所デザイン研究所 ●佐賀県窯業技術センター	
公務員	○陸上自衛隊 一般曹候補生 ◎海上自衛隊 一般曹候補生 ●陸上自衛隊 一般曹候補生 ○海上自衛隊 自衛官候補生	
県内就職	○◎● 長崎県央農業協同組合 ○ 山口組 ○ 長崎部品 ○◎ ハウステンボス ○ サカイ引越センター ○ 双葉産業 ○ アリアケジャパン ◎ 長崎キヤノン ◎ 株式会社エレナ ◎ 三笠化学工業 ◎ 日本郵便 ◎ 古賀物産 ◎ 松尾総建 ◎ 協和商工 ◎ 大島造船所 ◎ トヨタレンタリース長崎 ◎ 西海みずき信用金庫 ● 山下陶苑 ● 西肥自動車株式会社 ● ヒューマングループ	
県外就職	○ キャタピラー九州	

○普通科 ◎商業科 ●美術工芸科

各学科の紹介

2) 普通科について

1 特徴

(ア) 少人数クラスによる基礎学力の向上と応用力の伸長

県立高校の定員は40名で1クラスですが、波佐見高校は60名の普通科生徒を2クラスに分けています。そのため、先生方の目が生徒一人ひとりに届きやすく、またわかりやすく丁寧な学習指導が可能となっています。

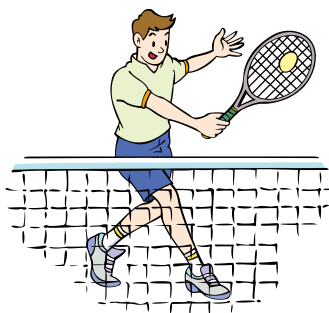
また、1年次の最初は、中学校でつまづいた所を中心に基礎基本を学び直します。このように中学校の復習を繰り返すことで、高校学習に対する心構えや学力が身につきます。

一方、ある一定以上の学力がある生徒には、校外模試など、その力を伸ばすための指導も充実しています。

学力を身につければ、就職にしろ、進学にしろ、進路希望は達成されます。

(イ) 部活動と勉強の両立

波佐見高校は文武両道を目指します。部活動は甲子園出場を目指す野球部だけではありません。サッカー部、バスケットボール部、ソフトテニス部、卓球部、陸上競技部が頑張っています。令和3年度にはバドミントン同好会もできました。



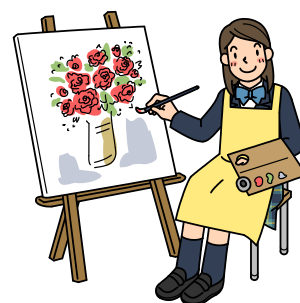
また、個人で少林寺拳法やボクシングで高総体に出場する生徒もいます。

文化部も負けてはいません。家庭部は波佐見町とコラボ制作した「棚田の恵み」が大人気です。放送部は町の広報誌の音訳ボランティアや昼休みの校内放送などで積極的に活動しています。

美術部、デザイン部、陶芸部は長崎県展覧会に多くの入賞者を輩出しています。地域の催し物にも積極的に参加し、波佐見陶器祭りポスターは波佐見高校デザイン部が制作しています。さらに全国の文化部が一同に会する「全国高等学校総合文化祭」にも県代表として出場します。

また部活動ではありませんが、高校生の弁論大会にも出場し、昨年度も「全国高等学校総合文化祭」にも県代表として出場しました。

さらに、有志でドローンの操作を学び、資格取得を目指す生徒もいます。



(ウ) 漢字能力検定3級以上の取得に努力

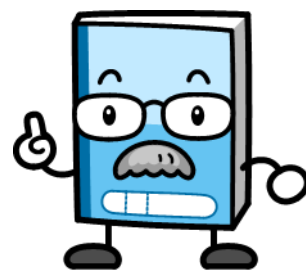
普通科では特に漢字能力検定の取得を中心にした指導を行います。漢字検定3級以上の合格を目指し、就職試験や進学試験に活用します。資格をとることで、就職試験や進学試験に有利に働きます。

また、希望者対象ですが、実用英語技能検定なども実施しています。



2 進路

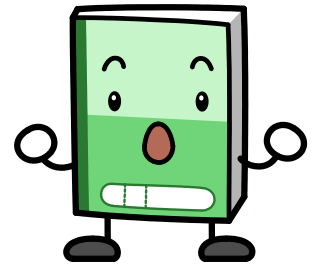
進路先についての詳しい情報は、進路指導部の資料や学校案内等を参照して下さい。



3) 商業科について

1 目標

- ① 商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる。
- ② ビジネスの意義や役割について理解させ、実践に繋げていく。



2 具体的な取り組み

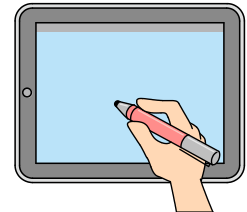
- ① 生徒の資格取得に向けたサポート
 - ・1年生の間に3級の資格を3種目以上取得する。
 - ・2年生の間に2級の資格を2種目以上取得する。
 - ・3年生の間に1級の資格を1種目以上取得する。
- ② 正しい勤労観や実践力を養い、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。
 - ・ビジネスコミュニケーション検定試験にチャレンジ。
 - ・課題研究（3年生）の授業に地域と連携した学習を取り入れる。
 - ア. 地域の事業所を訪問し、商品へのこだわりや仕事で大切にしていることなどを聞く。
 - イ. 波佐見町内および佐世保市で販売実習を行う
- ③ 外部講師による講話
 - ・キャリア教育セミナーの実施
 - ア. 1年（情報処理）…「社会を取り巻く情報について」・情報系専門学校講師
 - イ. 2年（マーケティング）…「地域の産業を知る」・波佐見町 百笑会 代表
 - ウ. 3年（課題研究）…「通用する社会人になるために」・ビジネス系専門学校講師

3 各種検定一覧

《全国商業高等学校協会主催》		《他団体主催》
・簿記実務検定	・情報処理検定	・漢字能力検定
・ビジネス計算実務検定	・商業経済検定	
・ビジネス文書実務検定	・ビジネスコミュニケーション検定	

4 令和6年度の1年生が受験する検定

- 6月 ビジネス計算実務検定 普通計算部門 3級
 11月 ビジネス計算実務検定 ビジネス計算部門 3級 と 普通計算部門 2級
 ビジネス文書実務検定 速度部門 3級
 1月 簿記実務検定 3級 情報処理検定 3級
 漢字能力検定 各自申し込んだ級（2級・準2級・3級）



5 令和5年度卒業生の資格取得上位者 全商協会（検定主催者）表彰 6種目1級合格者 1名

6 令和5年度卒業生の資格取得 生徒顕彰 ビジネスマイスター長崎（長崎県商業教育研究会）表彰 ゴールド 1名 シルバー 1名 ブロンズ 6名

7 進路一覧（令和5年度卒業生）

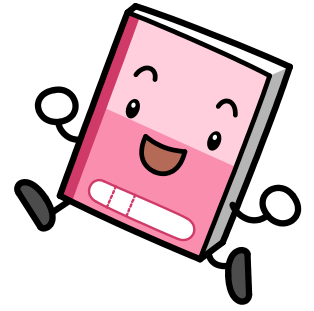
【就職】 県内

日本郵便九州支社 長崎県央農業協同組合、ハウステンボス、サカイ引越センター、長崎キャノン、エレナ、三笠化学工業、大島造船所、トヨタレンタリース長崎、西海みずき信用組合、古賀物産

【進学】長崎県立大学、至誠館大学（野球による推薦）

【海上自衛隊】

4) 美術・工芸科について



1 目標

- (ア) ものづくりに対する基本的な技術・技能を高めるとともに、各種公募展へ積極的に出品し、進路実現のための基盤を確立する。
- (イ) 外部講師を活用し、課外・校外活動を充実させる。
- (ウ) 学校生活を通して、美術・工芸について積極的に学ぶ。

2 具体的な活動

- (ア) 年間を通して、佐世保美術展、長崎県展、高校美術展などの公募展に最低2回出品する。特に長崎県展については、1・2年生全員が出品し、入賞・入選を目指す。
- (イ) 課外・校外活動において美術大学教授のワークショップや美術館見学、陶芸の焼成実習など、合計100時間を目標として活動する。
- (ウ) 「美術部」・「デザイン部」・「陶芸部」の美術系部活動のいずれかに所属し、意欲的に創作活動に取り組む。

3 主な取り組みについて（校外・課外活動100時間以上実施）

- 6月…県窯業技術センター見学（波佐見町）【2時間実施】
- 7月…美術大学教授による美大についての講話およびワークショップ【5時間実施】
美術系進学相談会（福岡）【4時間実施】
- 9月…長崎県展作品見学【4時間実施】
- 10月…畑の原窯跡にて登り窯焼成体験実習【18時間実施】
- 11月…長崎県高等学校総合文化祭美術展見学【4時間実施】
2学年インターンシップ（陶磁器関連事業所）【24時間実施】
- 12月…1学年インターンシップ（陶磁器関連事業所）【24時間実施】
- 1月…波佐見高校美術・工芸科卒業制作展見学【2時間実施】



4 その他（昨年の実績）

- (ア) 「はさみ陶器まつり」ポスター制作
- (イ) 高山陶器のガスタンクペイント活動
- (ウ) 第68回長崎県美術展覧会…入賞5名、入選（新鋭賞）3名、入選19名（県内公立高校最多）
- (エ) 長崎県高等学校総合文化祭美術・工芸部門…優秀賞4名、優良賞8名、入選15名
- (オ) 令和5年度（第19回）赤い羽根クオカードデザイン…優秀賞1名、佳作4名

5 進路一覧（8期生：15名）

- 進学（公立大学）
 - ・長岡造形大学 造形学部デザイン学科
- （私立大学）
 - ・東京造形大学 造形学部デザイン学科グラフィックデザイン専攻領域
造形学部デザイン学科インダストリアルデザイン専攻領域
 - ・東北芸術工科大学 芸術学部美術科洋画コース
 - ・京都芸術大学 芸術学部キャラクターデザイン学科
- （短期大学）
 - ・大阪芸術短期大学部 デザイン美術学科キャラクター・マンガ専攻
 - ・九州産業大学造形短期大学部 造形芸術学科
- （専門学校）
 - ・桑沢デザイン研究所 専攻デザイン科ファッションデザイン専攻
 - ・日本デザイナー学院九州校 専門課程デザイン学科コミックイラスト科
 - ・九州文化学園調理師専門学校
- 研修生
 - ・佐賀県立窯業技術センター 「窯業人材育成事業」一般研修 基礎コース
- 就職（県内）
 - ・株式会社ヒューマングループ 企画・デザイン職（佐世保市）
 - ・有限会社山下陶苑 製造職（川棚町）
 - ・長崎県中央農業協同組合 接客・販売職（東彼杵郡内）
 - ・西肥自動車株式会社 ドライバー職（佐世保市）
 - ・陸上自衛隊 一般曹候補生


出願書類の記入の仕方について

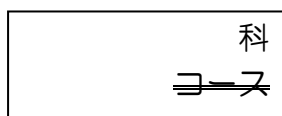
1 出願書類の記入の仕方 その1（県北地区高等学校の統一事項）

- ① 全ての書類において、高等学校名等を書く際、「長崎県立」は省略してください。
〔例〕「波佐見（高等学校長様）」「波佐見（高等学校）」
- ② 「入学願書」「調査書」「志願者名簿」などの同一項目（志願者及び保護者の氏名、住所、生年月日、志願学科等）については、同一にしてください。
また、入学願書の異体字については自筆してください。
- ③ 「入学願書」「調査書」の「志願者の現住所」は、市または郡から記入してください。ただし、県外からの志願者については都道府県名から記入してください。
〔例〕「東彼杵郡波佐見町長野郷312-5」「佐賀県武雄市朝日町〇〇-〇〇」
- ④ 「入学願書」の「志願者の略歴」の小・中学校名は、「〇〇市立」「〇〇郡〇〇町立」から記入してください。ただし、県外の受検者については都道府県名から記入してください。
〔例〕「東彼杵郡波佐見町立波佐見（中学校入学）」「広島県広島市立翠（中学校入学）」
- ⑤ 空欄への斜線の引き方については、県教育委員会「令和6年度長崎県公立高等学校入学者選抜実施要領」（以下、「実施要領」と記載）に従ってください。

「実施要領」の「調査書の記入・作成要領等（留意事項）」から抜粋
○「各教科の記録」「特別活動の記録」及び「行動の記録」の各欄を除き、特に指示がない場合、記入事項がない欄は空欄とせず、斜線を引くこと。
○斜線は左上から右下、右下から左上のどちらでもよい。
○斜線を引く欄が上下や左右に連続する場合、一括して斜線を引いてよい。

2 出願書類の記入の仕方 その2（波佐見高校への統一事項）

- ・「コース」はありません。下記の図を参考に、抹消線または斜線を引いてください。
- ・抹消線については、が原則です。



3 出願書類の記入の仕方 その3（各様式別）

- ①「特別選抜（自己推薦①・自己推薦②）入学願書」（様式1-1）
 - ・「志望学科・コース」には、
自己推薦①は「美術・工芸科」以外を「**第2志望**」まで記入できます。できれば第2志望まで記入することをお勧めします。「第2志望」がなければ、斜線を引いてください。「**第3志望**」の欄は斜線を引いてください。

自己推薦②は「**美術・工芸科**」志願の方は「**美術・工芸科**」のみ。「普通科」「商業科」志望の方は「美術・工芸科」以外を「**第2志望**」まで記入できます。できれば第2志望まで記入することをお勧めします。「第2志望」がなければ、斜線を引いてください。「**第3志望**」の欄は斜線を引いてください。

②「特別選抜（自己推薦①）自己推薦書」（様式2-1）及び「特別選抜（自己推薦②）自己推薦書」（様式2-2）

- ・「入学後の活動種目・分野」には、「野球」を記入してください。
- ・「主な実績・結果」には**上位の大会から**記入してください。大会名が長い場合は、略称でかまいません。空欄には斜線を引いてください。
- ・「主な実績・結果」に添付する賞状・新聞記事等の写しは、**A4判サイズ**にしてください。

③「一般選抜 入学願書」（様式1-3）

- ・「志望学科・コース」には「**第3志望**」まで記入できます。希望しない場合は斜線を引いてください。

④「写真票」（様式3-6）

- ・写真は、志願者本人であることが確認できるものでお願いします。
- ・写真裏に名前は記入しないでください。しっかり糊付けして剥がれないようにしてください。

⑤「志願者名簿」（様式3-1）

- ・該当する選抜の欄に1つだけ○印をつけてください。
- ・「**中学校名**」は簡潔表記でかまいません。ただし、**同名の中学校がある場合は〇〇市立から、また県外の中学校は県名から**お願いします。

〔例〕 東彼杵郡波佐見町立波佐見中学校 → 波佐見
諫早市立琴海中学校 → 諫早市立琴海
佐賀県武雄市立武雄中学校 → 佐賀県武雄市立武雄中学校

- ・特別選抜では、「自己推薦①」の志願者名簿、「自己推薦②」の志願者名簿と、それぞれ別々に作成してください。
- ・「普通科」「商業科」「美術・工芸科」の順に記入してください。その際、**学科ごとに1行空けてください**。
- ・「備考」に志願者の志望学科（**第1志望のみ**）を記入してください。ただし、2人目以降は「//」で表記してもかまいません。
- ・「既受検校」は、「**既受検校**」がない場合は空欄のままです。斜線の必要はありません。
- ・副申書を添付される場合がある場合には、「備考欄」に「**副申書あり**」と記入してください。
- ・普通科志願の場合、県北学区以外の中学校は「通学区域外志願」の欄に○を記入してください。

⑥「送り状」（様式3-2）

- ・「送付先Eメールアドレス」は、中学校の学校代表アドレスを記入してください。

⑦「調査書」(様式6-1)

- ・「出欠の記録」の「欠席の主な理由」には、各学年10日以上欠席がある場合、必ず記入してください。
- ・「願書」「写真票」「調査書」共に、以下の項目で疑義が生じた場合、波佐見高校から電話で問い合わせることがあります。

志願者氏名、保護者氏名・現住所・ふりがな・生年月日・志望学科 など

⑧「配慮措置申請書」(様式4-1)、「県外からの入学志願届」(様式4-3)など

- ・氏名等の書き方は上記に準じます。

4 その他(入試全般について)

- ・郵送による出願の際は、折り返し波佐見高校から受検票などを送りますので、**返信用封筒を出願書類に同封**してください。

その際には、以下のア)～エ)を守ってください。

ア) 返信用封筒は長3封筒

イ) 出願中学校の校長宛で宛先を明記

ウ) 簡易書留料金の切手460円(110円+350円)分を貼付

エ) 選抜手数料は2,200円分の普通為替

- ・受検票を紛失した場合には、中学校長を通じて、速やかに連絡してください。再発行の手続きが必要となります。
- ・いずれの選抜も上履きが必要です。
- ・一般選抜において、1日目もコンパスを持参させてください。
- ・使用を認められていない物品の検査場への持ち込みはできません。(波佐見高校においては、下敷きの使用はできません)
- ・検査当日の遅刻・欠席については、必ず連絡してください。
- ・出願後、受検を取り消す場合には、本冊子添付の「**受検取消届**」を利用されてもかまいません。
- ・合格発表後、入学を辞退する場合には、本冊子添付の「**合格辞退届**」を利用されてもかまいません。
- ・合格発表に関する電話での問い合わせには、一切応じることができません。
- ・募集要項、及び、本日の説明資料は、本校のホームページで閲覧及びダウンロードできます。

十 様 式

(様式 1-1)

※受付番号

特別選抜（自己推薦①・自己推薦②） 入学願書

令和 7 年 1 月 10 日

波佐見 高等学校長 様

エクセルに入力しない場合は
保護者本人による自筆

志願者氏名	鴻巣 次郎
保護者氏名	鴻巣 剛

貴校への入学を志願いたします。

*該当する選抜の欄に1つだけ○印を付けること

自己推薦①	自己推薦②
○	

志願者	ふりがな 氏名	このす じろう 鴻巣 次郎	生年 月日	平成 21 年 7 月 7 日	
	志願校	波佐見 高等学校 全日 制	志望 学科・ コース	第1志望	商業 <small>科 コース</small>
	第2志望	普通 <small>科 コース</small>	第3志望		
保護者	現住所	〒 859-3725 東彼杵郡波佐見町長野郷〇〇番地△△			
	現住所	志願者の欄に同じ			
志願者の略歴	4 年 4 月	波佐見町立波佐見 中学校 入学			
	年 月	中学校 転入			
	一括して斜線を引いてよい		中学校 転入		
	7 年 3 月	波佐見町立波佐見 中学校 卒業見込			
備考	中学校卒業後				

黒の二重線で削除

県外からの志願者は、都道府県名から記入

(注) 記入にあたっては、「入学願書の記入上の注意」を参照すること。

(様式 2 - 1)

※

特別選抜 (自己推薦①) 自己推薦書

令和 7 年 1 月 10 日

波佐見 高等学校長 様

波佐見町 立 波佐見 中学校 氏名 鴻巣 次郎

入学後の活動種目・分野

野球

志願理由

主な実績・結果

備考

活動名・大会名 等

学年

実績・結果

添付書類

軟式野球

R6 県中総体

3

優勝

有

(注) 1 志願者本人が定められた様式に入力または、自筆すること。(入学願書の記入上の注意の1に準じる)

2 「主な実績・結果」欄は、顕著なものについて記入し、別に証明する書類(賞状・新聞記事等)の写しを添付すること。

3 添付する書類はA4判サイズとし、「添付書類」欄に「有」・「無」のいずれかを記入すること。

4 「備考」欄は志願先高等学校から指示があった場合に使用すること。

5 ※欄は記入しないこと。

(様式 2 - 2)

※

特別選抜 (自己推薦②)

自己推薦書

令和 7 年 1 月 10 日

波佐見 高等学校長 様

波佐見町 立 波佐見 中学校 氏名 長野 乙子

主体的活動を通して学んだこと						
志願理由						
取得資格等	1	名称	階級・スコア等	添付書類	2	
		実用英検	3級	有		
主な実績・結果	活動名・大会名 等		学年	実績・結果		添付書類
	西日本読書感想画コンクール		2	優良賞		有
備考						

- (注) 1 志願者本人が定められた様式に入力または、自筆すること。(入学願書の記入上の注意の1に準じる)
- 2 「取得資格等」、「主な実績・結果」欄は、顕著なものについて記入し、別に証明する書類(合格証明書、賞状・新聞記事等)の写しを添付すること。
- 3 添付する書類はA4判サイズとし、「添付書類」欄に「有」・「無」のいずれかを記入すること。
- 4 「備考」欄は志願先高等学校から指示があった場合に使用すること。
- 5 ※欄は記入しないこと。

(様式1-3)

※受付番号

一般選抜／定時制Ⅰ期・Ⅱ期選抜／
連携型中高一貫教育に係る入学者選抜

入学願書

令和 7 年 1 月 31 日

波佐見 高等学校長 様

エクセルに入力しない場合は
保護者本人による自筆

志願者氏名

波佐見 太郎

保護者氏名

波佐見 花子

貴校への入学を志願いたします。

志願者	ふりがな 氏名	はさみ たらう 波佐見 太郎	生年月日	平成21年 7 月 7 日				
	志願校	波佐見 高等学校 全日 制	志望学科・コース	第1志望	美術・工芸 科	第2志望	普通 科	第3志望
保護者	〒	〒 859-3725						
	現住所	東彼杵郡波佐見町長野郷312番地5						
志願者の略歴	令和 4 年 4 月	佐世保市立相浦 中学校 入学						
	5 年 9 月	波佐見町立波佐見 中学校 転入						
	年 月	中学校 転入						
	7 年 3 月	波佐見町立波佐見 中学校卒業見込						
	中学校卒業後							

県外からの志願者は、
都道府県名から記入。

県外からの志願者は、
都道府県名から記入

(注) 記入にあたっては、「入学願書の記入上の注意」を参照すること。

特別選抜受検者の場合

写 真 票

<input type="radio"/>	全日制課程・定時制課程昼間部 特別選抜
	全日制課程・定時制課程昼間部 一般選抜
	定時制課程（昼間部を除く） I期選抜
	定時制課程（昼間部を除く） II期選抜
	帰国生徒・外国籍生徒に係る入学者選抜の特例措置
	離島留学特別選抜

*上記のいずれかの左欄に○印を付ける。

受 検 番 号	※
---------	---

※印の欄は記入しない。

(写 真)

※サイズは「たて5cm×
よこ4cm」とする。

氏 志
名 願
者

波
佐
見

太
郎

- (注) 1 志願者氏名欄は、志願者本人が、たて書きで記入すること（鉛筆は不可）。
2 写真は、脱帽、正面、上半身のものとし、出願前3か月以内に撮影したものを原則とするが、志願者本人であることの判別が可能な場合、令和6年度中に撮影したものをを用いてよい。
3 写真の背景は無地とし、本人のみを撮影したものに限る（集合写真の切り抜き等は不可）。また、印画紙の質や厚さは特に定めないが、本人が鮮明に印画されるものを使用すること。

(様式3-1)

志 願 者 名 簿

*該当する選抜の欄に1つだけ○印を付けること

特別選抜 自己推薦①	特別選抜 自己推薦②	離島留学特別選抜	一般選抜/定時制Ⅰ期・Ⅱ期選抜/ 連携型中高一貫教育に係る入学選抜	チャレンジ 選抜
			○	

(No. 1)

中学校名	波佐見	志願校名	波佐見	高等学校	<div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;"> <div style="text-align: center; margin-right: 5px;">全 日 制</div> <hr style="width: 100%; border: 1px solid black;"/> <div style="text-align: center; margin-right: 5px;">定 時 制</div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 5px;">(夜間・昼間)</div>
------	-----	------	-----	------	--

※受検番号	氏 名	備 考	既受検校	通学区域外 志願
	折敷瀬 太郎	普通科		
	志折 花子	//		○
	岳辺田 五郎	// 副申書あり		
	田の頭 七恵	商業科		
	村木 八郎	//		
	長尾 九郎	//		
	波佐見 太郎	美術・工芸科	波佐見	
	湯無田 花実	//		

志願学科の間を、それぞれ1行ずつ開けてください。

備考欄に、普通科、商業科、美術・工芸科の順に記入してください

普通科志願で県北学区以外の中学校は○を記入。

配慮が必要な生徒、副申書を添付した生徒等には、備考欄に「副申書あり」と、お書きください。

「既受検校」があった場合に、記入してください。

- (注) 1 「志願校名」欄は、全日制・定時制のどちらか該当しない方を二重線または一本線で削除すること。なお、鳴滝高等学校及び佐世保中央高等学校の定時制課程については、夜間・昼間のどちらか該当しない方を二重線または一本線で削除すること。
- 2 ※欄は、高等学校で記入すること。
- 3 普通科について通学区域外志願の場合は、「通学区域外志願」欄に○を記入すること。
- 4 志願者が、すでに公立高等学校を受検した場合(志願のみで受検しなかった場合を含む。)は、その受検校名を「既受検校」欄に記入すること。なお、チャレンジ選抜において「既受検校」が複数校ある場合はすべて記入すること。
- 5 選抜ごとに作成すること。ただし、学科・コース別に分けて作成する必要はない。

波佐見 高等学校長 様

県外の中学校は、都道府県名から記入してください。

立 中学校長 印

令和7年度長崎県公立高等学校入学志願者の
入学願書等の提出について

別紙志願者名簿に記載のとおり、本校から **4** 名の者が貴校を志願しますので、下記部数の入学願書に選抜手数料等を添えて提出します。

*該当する選抜の欄に1つだけ○印を付けること

特別選抜 自己推薦①	特別選抜 自己推薦②	離島留学特別選抜	一般選抜/定時制Ⅰ期・Ⅱ期選抜/ 連携型中高一貫教育に係る入学者選抜	チャレンジ選抜
			○	

記

成績一覧表は、旧年度卒業生及び県外からの志願者については、不要です。

1 入学願書	計	4	通
2 写真票	計	4	通
3 志願者名簿	計	1	通
4 調査書	計	4	通
5 成績一覧表	計	2	通
6 自己推薦書	計		通
7 選抜手数料 又は 選抜手数料の差額	計	8800 円 (定時制課程昼間部の選抜手数料をすでに納付している者で全日制課程に志願するもの 名分)	
8 その他	副申書	1通	

*下記に合格者受検番号一覧の送付先Eメールアドレスを記入してください。

送付先Eメールアドレス	@
-------------	---

中学校の公的アドレスを記入してください

一般選抜の場合

(様式6-1)

調 査 書

※											
志願者	令和 6 年度 第 3 学年 B 組 16 号										
	ふりがな	はさみ たろう			性別	東彼杵郡波佐見町					
	氏名	波佐見 太郎			男	現住所	長野郷 3 1 2 番地 5				
	生年月日	平成 21 年 7 月 7 日			略歴	令和 7 年 3 月 中学校卒業 見込					
保護者氏名		波佐見 花子			保護者現住所	志願者の欄に同じ					
各教科の記録	学年	観点別学習状況			評定			特別活動の記録			
	教科	観点	1	2	3	1	2	3	学級活動	○	
	国語	知識・技能	A	—	C				学校行事	—	
		思考・判断・表現							生徒会活動		
		主体的に学習に取り組む態度							行動の記録		
	社会	知識・技能							基本的な生活習慣	○	
		思考・判断・表現							健康・体力の向上	—	
		主体的に学習に取り組む態度							自主・自律		
	数学	知識・技能							責任感		
		思考・判断・表現							創意工夫		
		主体的に学習に取り組む態度							思いやり・協力		
	理科	知識・技能							生命尊重・自然愛護		
		思考・判断・表現							勤労・奉仕		
		主体的に学習に取り組む態度							公正・公平		
	音楽	知識・技能							公共心・公德心		
		思考・判断・表現							出欠の記録		
		主体的に学習に取り組む態度							学年	欠席日数	欠席の主な理由
	美術	知識・技能							1	10	入院10
		思考・判断・表現							2	0	
		主体的に学習に取り組む態度							3	0	
保健体育	知識・技能							健康の状況			
	思考・判断・表現										
	主体的に学習に取り組む態度										
技術・家庭	知識・技能										
	思考・判断・表現										
	主体的に学習に取り組む態度										
外国語	知識・技能										
	思考・判断・表現										
	主体的に学習に取り組む態度										
計	知識・技能	Aの数	0	0	0						
	思考・判断・表現	Aの数	0	0	0						
	主体的に学習に取り組む態度	Aの数	0	0	0						
総合的な学習の時間の記録											
参考となる諸事項	実施要領P 100~101 を参照して記入をお願いします。										
本書の記載に誤りのないことを証明します。											
令和 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日					記載責任者 職 氏名 <input type="text"/>						
<input type="text"/> 立 <input type="text"/>					中学校 校長氏名 <input type="text"/> 印						

(注) ※欄は中学校で記入しないこと。

通学区域について

実施要領P3

3 通学区域

- (1) 長崎県立高等学校の通学区域に関する規則（以下「通学区域に関する規則」という）に定めるところによる（付録Ⅰ参照）。ただし、長崎市立長崎商業高等学校の通学区域は長崎市立長崎商業高等学校管理規則に定めるところにより、県全域とする。
- (2) 所属通学区域の認定は令和7年1月13日現在とする。
- (3) 全日制の課程における普通教育を主とする学科（以下「普通科」という）（壱岐高等学校東アジア歴史・中国語コース、五島高等学校スポーツコース、五島南高等学校夢トライコース及び奈留高等学校を除く）への志願については、次の各号のいずれかに該当する場合は区域内志願とし、その他は区域外志願とする。なお、学校選択制により各市町教育委員会が指定する中学校以外の学校を選択している場合においても、志願者及び保護者の居住地をもとに通学区域を判断することとする。
 - ① 志願者と保護者が、同じ通学区域内に居住していて、その通学区域内の高等学校を志願する場合
 - ② 志願者と保護者が、調整区域に居住していて、通学区域に関する規則（第2条の2）に定める高等学校を志願する場合
 - ③ 保護者と住所を異にする志願者が、公立中学校に在学していて、その中学校を含む通学区域内の高等学校を志願する場合
 - ④ 保護者と住所を異にする志願者が、国・私立中学校及び特別支援学校の中学部に在学していて、その保護者の現住所を含む通学区域内の高等学校を志願する場合
 - ⑤ 旧年度卒業の志願者が、その保護者の現住所を含む通学区域内の高等学校を志願する場合
 - ⑥ 対象高等学校普通科（長崎東、長崎西、長崎南、長崎北、長崎北陽台、佐世保南、佐世保北、佐世保西、島原、諫早、西陵、大村、壱岐）の志願者が県内特殊事情証明願（様式4-2）により証明を受けた場合
 - ⑦ 県外からの入学志願において、保護者等もしくは保証人の住所（予定）が通学区域内にある場合。

2 志願の手続き（特別選抜・一般選抜・チャレンジ選抜共通）

1 志 願

- (1) 高等学校への入学志願は、特別選抜、一般選抜、チャレンジ選抜それぞれ1校に限るものとする。ただし、特別選抜で合格した者は、一般選抜に志願することはできない。また、公立高等学校の合格者となった者は、チャレンジ選抜に志願することはできない。
- (2) くくり募集を行う高等学校の関連学科への志願は、1学科志願とみなす。
- (3) 2校以上の公立高等学校に志願をしているときは、高等学校長はその受検を停止させ、また、入学許可後においても入学を取り消すことができる。

2 県内特殊事情証明願

令和7年4月ごろまでに、保護者が転勤等のため、他の通学区域に住所を変更し、移転先の住所を含む通学区域内の対象高等学校普通科（長崎東、長崎西、長崎南、長崎北、長崎北陽台、佐世保南、佐世保北、佐世保西、島原、諫早、西陵、大村、壱岐）を区域内志願する場合は、県内特殊事情証明願（様式4-2）を提出するものとする。なお、様式は県教育委員会のホームページから取得する。

その手続きは、県内特殊事情証明願に保護者の「転勤証明」又は移転先の「住民票の写し」等を添えて在籍（又は出身）中学校長に願い出て、次の項により証明を受けるものとする。

- (1) 志願者が市町立中学校に在学している場合は、その中学校長及び市町教育委員会
- (2) 志願者が県立中学校又は国・私立中学校に在学している場合は、その中学校長
- (3) 志願者が旧年度卒業である場合は、その出身中学校長

なお、その証明は、「転勤証明」又は移転先の「住民票の写し」等を添付のうえ、入学願書とともに志願先高等学校長に提出する。

3 県外からの入学志願（「県外からの入学志願届」等）

特別選抜自己推薦①を除き、県外からの入学志願を受け入れる。特別選抜の自己推薦②と、一般選抜、チャレンジ選抜においては、次の志願手続きにより県外からの入学志願を受け入れる。

(1) 資 格

①の1の「応募資格」（4ページ）を有する者のうち、次の各項のいずれかに該当する者とする。

- ① 保護者等（注1）の住所が本県にある者
- ② 入学時に保護者等が本県に居住する見込みの者
- ③ 保護者等が志願学区内に転住できない場合、保証人（注2）を確保できている者
- ④ 保護者等が居住する県外の自宅から志願する高等学校に通学可能な者

なお、資格③、④によって、県外からの志願者に入学を許可し得る数は、県教育委員会が上限を定め、各学校からの申請に基づき教育長が承認するものとする。（35～65ページ参照）

（注1）「保護者等」とは、親権を行う者又は未成年後見人もしくはこれに準ずる者（祖父母や親戚等）とする。

（注2）「保証人」とは、県内に居住する成年者で、入学後に生徒の日常生活に関わりを有することができる者のうち、保護者等が選定するものとする。

(2) 志願の手続き

Ⅰ 特別選抜自己推薦②、一般選抜の場合

〔1〕原則として令和6年12月20日（金）までに志願先高等学校に電話で申し出る。

〔2〕入学願書受付期間に、入学願書に「県外からの入学志願届（様式4-3）」を添えて志願先高等学校に提出すること。また、対象高等学校普通科（長崎東、長崎西、長崎南、長崎北、長崎北陽台、佐世保南、佐世保北、佐世保西、島原、諫早、西陵、大村、壱岐）を志願（第2、第3希望の志望学科に普通

志願の手続きについて（県内特殊事情証明願は不要）

1. 「県内特殊事情証明願」は、**保護者の転勤等により**、受検者が**他地区から**県北学区の住所に住み、指定の学校の普通科を志願する場合には必要になりますが、**本校の普通科を志願する場合は必要ありません。**ただし、**志願者名簿の「通学区外志願」の欄には○を記入してください。**
2. **商業科及び美術・工芸科の志願者には「県内特殊事情証明願」は必要ありません。**

障害等のある受検者への対応について

実施要領 P6

4 障害等のある受検者への対応

- (1) 障害等があるため、通常の方法による受検が困難と認められる場合、中学校長は入学願書受付期間より前、又は入学願書受付期間に志願先（受付期間より前は志願予定の）高等学校長に対し、受検上必要と考えられる配慮措置について申請を行う。申請は、当該受検者の志願の予定が明らかとなった時点からできるだけ速やかに行うこと。
なお、障害等の種類や程度により、志願の予定が明らかになる以前においても相談の必要があると判断した場合、中学校長は市町教育委員会を通じて県教育庁高校教育課長あて申請を行うこと。
申請にあたっては、いずれの場合も公文書（様式任意）で行うこと。その際、必要に応じて「配慮措置申請書」（様式4-1 参考様式）を使用してもよい。
- (2) 申請を受けた高等学校長は、障害等の種類や程度、中学校等における生活状況や指導上の配慮事項等を勘案し、検査方法や検査場等について適切な措置を決定する。決定した措置については、中学校長に公文書で連絡するとともに、検査当日に適切に当該措置を講じるものとする。県教育庁高校教育課との協議を必要と判断するものについては、高等学校長は速やかに公文書にて協議を行った上で、中学校長に公文書で連絡する。
- (3) 高等学校長は、実施した配慮措置について県教育庁高校教育課長に報告すること。（報告の詳細については、別途通知する。）

配慮措置を要する志願者については、**あらかじめ波佐見高校まで連絡をお願いします。**これまでの例では、10月や11月頃に実際に校内見学をしてもらった上で、受検の有無を決めてもらい、以後の措置をスムーズに行うことができました。ご協力をお願いします。

障害者差別解消法に伴う施設等設置状況（令和5年10月1日現在）

施設等	設置状況	備考
エレベーター	×	
自動ドア	×	
スロープ	△（一部）	
障がい者トイレ	○	
手すり	○	

(様式4-1 参考様式)

配慮措置申請書

文 書 番 号
令和 年 月 日

高等学校長 様

中学校長 印

貴校志願(予定)の本校生徒(卒業生)について、下記のとおり配慮措置を申請します。

*該当する選抜の欄に1つだけ○印を付けること

特別選抜 自己推薦①	特別選抜 自己推薦②	離島留学特別選抜	一般選抜/定時制Ⅰ期・Ⅱ期選抜/ 連携型中高一貫教育に係る入学者選抜	チャレンジ選抜

記

志願者	氏名		性別	
	生年月日	平成 年 月 日		
障害等の種類・程度				
中学校等における生活状況及び指導上の配慮事項				
受検上必要と考えられる特別な配慮等				

- (注) 1 この配慮措置の対象となる者は、障害等のため通常の方法により受検することが困難と認められる者とする。
2 障害等の種類・程度欄には、医師の診断結果等に基づいて具体的に記入する。
3 申請書の記載内容のみでは障害等を十分に把握できない場合には、別に添書を付ける。また、必要に応じて個別の教育支援計画、医師の診断書等の写しを添付する。

県外からの入学志願について

実施要領P5～P6

3 県外からの入学志願（「県外からの入学志願届」等）

特別選抜自己推薦①を除き、県外からの入学志願を受け入れる。特別選抜の自己推薦②と、一般選抜、チャレンジ選抜においては、次の志願手続きにより県外からの入学志願を受け入れる。

(1) 資格

①の1の「応募資格」（4ページ）を有する者のうち、次の各項のいずれかに該当する者とする。

- ① 保護者等（注1）の住所が本県にある者
- ② 入学時に保護者等が本県に居住する見込みの者
- ③ 保護者等が志願学区内に転住できない場合、保証人（注2）を確保できている者
- ④ 保護者等が居住する県外の自宅から志願する高等学校に通学可能な者

なお、資格③、④によって、県外からの志願者に入学を許可し得る数は、県教育委員会が上限を定める中で、各学校からの申請に基づき教育長が承認するものとする。（35～65ページ参照）

（注1）「保護者等」とは、親権を行う者又は未成年後見人もしくはこれに準ずる者（祖父母や親戚等）とする。

（注2）「保証人」とは、県内に居住する成年者で、入学後に生徒の日常生活に関わりを有することができる者のうち、保護者等が選定するものとする。

(2) 志願の手続き

I 特別選抜自己推薦②、一般選抜の場合

〔1〕原則として令和6年12月20日（金）までに志願先高等学校に電話で申し出る。

〔2〕入学願書受付期間に、入学願書に「県外からの入学志願届（様式4-3）」を添えて志願先高等学校に提出すること。また、対象高等学校普通科（長崎東、長崎西、長崎南、長崎北、長崎北陽台、佐世保南、佐世保北、佐世保西、島原、諫早、西陵、大村、壱岐）を志願（第2、第3希望の志望学科に普通科を志望する場合も含む）する場合は、証明書類を提出すること。

（証明書類）※対象高等学校普通科を志願（第2、第3希望の志望学科に普通科を志望する場合も含む）する場合のみ提出

応募資格①	・保護者等の住民票の写し
応募資格②	・保護者等の転勤証明 等
応募資格③	・保証人の住民票の写し
応募資格④	・保護者等の住民票の写し、又は通学可能な県外の住所への転勤証明 等

ただし、次の場合は、その手続きを要しない。

ア 旧年度卒業の志願者で、その保護者等が現在本県に居住している者

イ 離島留学制度に係る実施校の該当学科・コース等を志願する者

II チャレンジ選抜の場合

〔1〕入学願書提出前までに志願先高等学校に電話で申し出ること。（実施校については35～65ページ参照）
※一般選抜の合格発表から、チャレンジ選抜入学願書提出までの期間が短いため注意すること。

〔2〕入学願書受付期間に、入学願書に県外からの入学志願届（様式4-3）を添えて志願先高等学校に提出すること。

(3) その他

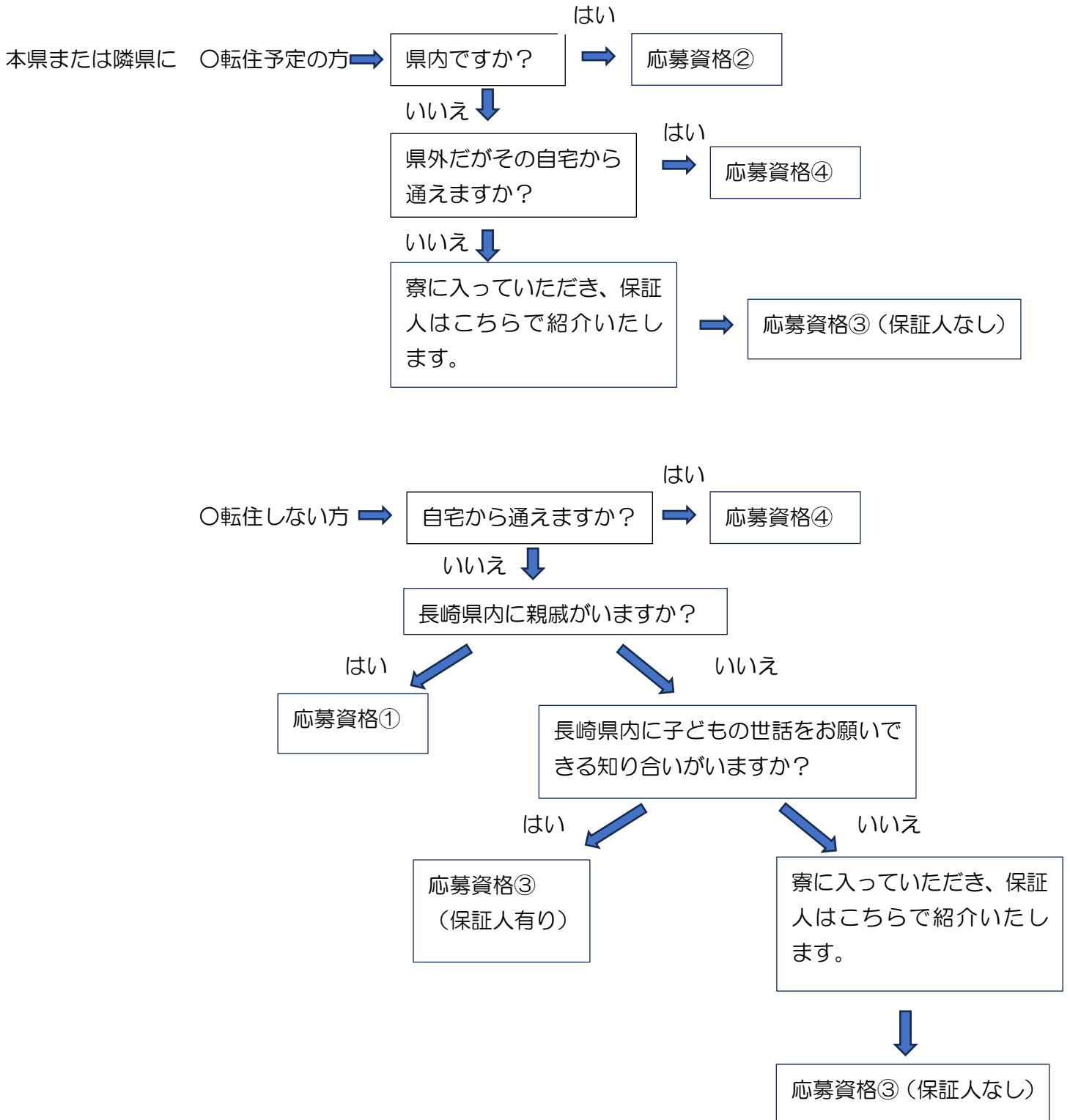
ア 県外からの入学志願届の様式は、入学者選抜実施要領とあわせて県教育委員会のホームページから取得すること。

イ 県外からの入学志願届は、在籍（又は出身）中学校長の事実の証明を受けなければならない。

ウ その他の手続きは、県内からの志願に準じる。

エ 県外からの志願者についての通学区域は、原則として①の3の「通学区域」（4～5ページ）によるものとする。

県外の方用フローチャート



(補足説明)

応募資格①と資格②の該当者について

1. 応募資格①②にある「保護者等」は、祖父母の方やご親戚などが含まれ、その方の住所が志願者の居住先になります。その居住先住所が長崎県にあれば、県内受検と同じ通学区域の規則が適用されます。**本校を志願する場合は、通学区域に制限はありません。**
2. 志願者は、**令和6年12月20日(金)までに**波佐見高校(0956-85-3440または0956-85-3215)に**電話で申し出てください。**(※チャレンジ選抜志願者は、入学願書提出前まで。)
3. 準備しなければならない書類は、以下の通りです。
準備書類
ア「県外からの入学志願届」
4. ア「県外からの入学志願届」の記入方法
応募資格①の方は、保護者に準ずる者の欄に、ご親戚のお名前、続柄、住所等を記入。
応募資格②の方は、保護者の欄の長崎県内または通学可能な県外の住所および転居年月日を記入。
5. 提出方法
必要事項を記入後、入学願書と共に在籍**中学校**に提出して出願してください。
昨年度までのように長崎県教育庁への電話や証明書等は必要ありません。

アは**令和6年9月30日から**、長崎県教育委員会HPにて取得できます。
本日、配付した書類も使えます。

応募資格③の該当者について 保証人がいる場合

※この場合の保証人とは、親戚ではなく、知り合いの方で、生徒の日常生活の面倒を見られる方を指します。

◎応募資格③と④の県外受入定員については、本校では**24名**となっています。

1. 志願者は、**令和6年12月20日(金)までに**波佐見高校(0956-85-3440または0956-85-3215)に**電話で申し出てください。**(※チャレンジ選抜志願者は、入学願書提出前まで。)
2. 準備しなければならない書類は、以下の通りです。
準備書類
ア「県外からの入学志願届」
3. ア「県外からの入学志願届」の記入方法
保護者に準ずる者の欄に、お知り合いのお名前、住所等を記入。
※志願者との続柄・間柄等の欄には「保証人」と記入してください。

アは**令和6年9月30日から**、長崎県教育委員会HPにて取得できます。
本日、配付した書類も使えます。

4. 提出方法

必要事項を記入後、入学願書と共に在籍**中学校**に提出して出願してください。

昨年度までのように長崎県教育庁への電話や証明書等は必要ありません。

応募資格③の該当者について 保証人がいない場合

※この場合は、寮に入らせていただくことを前提に、学校側で保証人を紹介します。

◎応募資格③と④の県外受入定員については、本校では**24名**となっています。

1. 志願者は、**令和6年12月20日（金）までに**波佐見高校（0956-85-3440または0956-85-3215）に**電話で申し出てください。**（※チャレンジ選抜志願者は、入学願書提出前まで。）

2. 準備しなければならない書類は、以下の通りです。

準備書類

ア「県外からの入学志願届」

アは**令和6年9月30日から**、長崎県教育委員会HPにて取得できます。
本日、配付した書類も使えます。

3. ア「県外からの入学志願届」の記入方法

保護者に準ずる者の欄に以下のようにご記入ください。

氏名「松下 和徳」 志願者との続柄・間柄等「保証人」

長崎県内住所「長崎県東彼杵郡波佐見町長野郷615番地」

（電話番号）「090-3605-2330」

4. 提出方法

必要事項を記入後、入学願書と共に在籍**中学校**に提出して出願してください。

昨年度までのように長崎県教育庁への電話や証明書等は必要ありません。

応募資格④の該当者について

1. 応募資格④は、現住所もしくは転居予定の住所が、波佐見町近隣の県外市町村（有田町や嬉野市など）にあり、その住所から通学可能な者になります。

◎応募資格③と④の県外受入定員については、本校では**24名**となっています。

2. 志願者は、**令和6年12月20日（金）までに**波佐見高校（0956-85-3440または0956-85-3215）に**電話で申し出てください。**（※チャレンジ選抜志願者は、入学願書提出前まで。）

2. 準備しなければならない書類は、以下の通りです。

準備書類

ア「県外からの入学志願届」

アは**令和6年9月30日から**、長崎県教育委員会HPにて取得できます。
本日、配付した書類も使えます。

3. ア「県外からの入学志願届」の記入方法

保護者の欄の長崎県内または通学可能な県外の住所に現住所を記入。

転居年月日欄は、近隣の市町村に転居される場合は記入。それ以外は記入不要。

4. 提出方法

必要事項を記入後、入学願書と共に在籍**中学校**に提出して出願してください。

昨年度までのように長崎県教育庁への電話や証明書等は必要ありません。

(様式4-3)

※普通科の通学区分(区域内・区域外) ※

県外からの入学志願届

志願する選抜の欄に1つだけ○印を付ること

①~④のいずれか1つを記入すること

特別選抜	一般選抜	チャレンジ選抜
○		

応募資格	①
------	---

波佐見 高等学校長 様

令和7年1月10日

保護者氏名 三領石 五郎

下記のとおり志願します。
なお、貴県以外の公立高等学校へは志願または合格していません。

記

志願者	氏名	三領石 一郎	生年月日	平成21年7月7日
	現住所	佐賀県西松浦郡有田町〇〇番地〇〇		
	入学後の住所(予定)	長崎県東彼杵郡波佐見町長野郷312番5号		
	在籍出身中学校	令和7年3月 平成	有田町立有田 中学校	卒業見込 卒業
保護者	氏名	三領石 五郎	応募資格①の例です。	
	現住所	志願者の欄に同じ	(電話番号)	0954-46-XXXX
	長崎県内または通学可能な県外の住所(予定)	〇〇市〇〇町1-1	転居年月日(予定)	令和7年4月1日
保護者に準ずる者	氏名	松下 和徳	志願者との続柄・間柄等	保証人
	長崎県内住所	東彼杵郡波佐見町長野郷615番地 (電話番号) 090-3605-2330		
志願理由(具体的に) 例:波佐見高校野球部は常に甲子園を目指せる有力校で、そのレベルの高い野球部で自分の腕を磨き、私自身の力で波佐見高校を甲子園に連れて行きたいからです				
上記のとおり相違ないこと及び貴県以外の公立高等学校を志願または合格していないことを証明します。 令和 年 月 日 立 中学校長 [印]				

入寮予定の方はこのようにご記入ください。


応募資格③(保証人なし)の方はこのようにご記入ください。

※欄は高等学校記入欄

(波佐見高様式)

令和 年 月 日

波佐見高等学校長 様

中学校長 

受 検 取 消 届

この度、貴校に入学志願をいたしました下記の者について、受検取消の申し出がありましたので、お届けいたします。

記


- 1 志 願 者 名 受検番号 ()
- 2 保 護 者 名
- 3 事 由

- * 1. 申し出があり次第、早急にご提出ください。
- 2. 事由については、簡潔に記載してください。

(波佐見高様式)

令和 年 月 日

波佐見高等学校長 様

中学校長 

入 学 辞 退 届

この度、貴校に合格いたしました下記の者について、入学を辞退する旨の申し出がありましたので、お届けいたします。

記

- 1 志 願 者 名 受検番号 ()
- 2 保 護 者 名
- 3 事 由

- * 1. 申し出があり次第、早急にご提出ください。
2. 事由については、簡潔に記載してください。

教科	科目	年度 科 学年 標準単位	R7	R8	R9	R7	R8	R9	R7	R8	R9
			普通科			商業科			美術・工芸科		
			1	2	3	1	2	3	1	2	3
国語	現代の国語	2	2			2			2		
	言語文化	2	3			2			2		
	論理国語	4		2	1						
	文学国語	4		1	2		2	2		2	2
	国語表現	4								2	2
地理歴史	古典探究	4		2	2		2	2		2	2
	地理総合	2	2			2			2		
	地理探究	3									
	歴史総合	2		2	2			2			2
公民	日本史探究	3									
	世界史探究	3									
	政治・経済	2		2			2			2	
数学	倫理	2									
	数学Ⅰ	3	3			3		3	3		
	数学Ⅱ	4		4	4						
	数学Ⅲ	3									
	数学A	2	2				2			2	
	数学B	2									
理科	数学C	2									
	科学と人間生活	2	2		1	2			2		
	物理基礎	2		2	2						
	物理	4									
	化学基礎	2		2	2			2			
	化学	4									
保健	生物基礎	2		2	2			2			2
	生物	4									
芸術	体育	7~8	3	3	2	3	3	2	3	3	2
	保健	2	1	1		1	1		1	1	
	音楽Ⅰ	2	2				2				
	音楽Ⅱ	2		2	2			2			
外国語	美術Ⅰ	2									
	美術Ⅱ	2									
	美術Ⅲ	2									
	英語コミュニケーションⅠ	3	4			4			4		
家庭	英語コミュニケーションⅡ	4		3	3		3	3		3	3
	英語コミュニケーションⅢ	4									
	論理・表現Ⅰ	2		2							
	論理・表現Ⅱ	2			2						
家庭情報	論理・表現Ⅲ	2									
	家庭基礎	2	2				2		2		
商業	家庭フードデザイン	2~8		2	2			2			
	情報Ⅰ	2	2						2		
	情報Ⅱ	2									
	ビジネス基礎	2~4				2					
	課題研究	2~6						3			
	マーケティング	2~6					2				
	簿記	2~6				4					
	財務会計Ⅰ	2~6					4				
原価計算	2~6						4				
美術	情報処理	2~6				3	3				
	ソフトウェア活用	2~6						3			
	素描	2~12							2	2	3
	構成	2~12							2	4	
	美術史	1~4							1	1	
	絵画	2~12								2	
	ビジュアルデザイン	2~12									2
	クラフトデザイン	2~12						2	2		2
美術概論	1~4									1	
総合的な探究の時間	鑑賞研究	1~4									1
	*課題研究										6
教科	総合的な探究の時間	3~6	1	1	1	1	1	1	1	1	1
週時間合計	ホームルーム	3~	1	1	1	1	1	1	1	1	1
			30	30	30	30	30	30	30	30	30

※普通科における選択科目は2・3年継続とする。

年間諸経費

(参考：令和6年度入学生)

1) 入学する際に必要とされる経費① (入学時納入金/教科書等)

	普通科	商業科	美術・工芸科
男女共通	¥62,666	¥69,945	¥98,015

注1) 商業科は検定代が含まれます。

注2) 美術・工芸科は材料代や展覧会見学費用(バス代、入場料等)が含まれます。

2) 入学する際に必要とされる経費② (制服/指定スリッパ/指定靴/体育用品等)

	普通科/美工科	商業科
男子	¥75,900	¥81,850
女子	¥83,350	¥89,300

注4) 商業科は電卓代(令和6年度 5,950円)が含まれています。

3) 年間に必要とされる必要経費

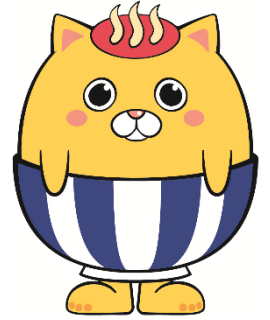
経費①+経費②+(6月~3月の校納金 計 20,000円) = 年間必要経費

	普通科	商業科	美術・工芸科
男子	¥158,866	¥171,795	¥193,915
女子	¥166,016	¥179,245	¥201,365

4) 授業料 (高等学校就学支援金辞退者及び不認定者) 9,900円×12ヶ月=¥118,800

波佐見町からの支援

波佐見町から波佐見高校生（町外出身者を含む）へ支援をいただいております。支援金それぞれについて、必要な時期に該当者へ申請書を配付します。



1 入学支援金〈新入生対象〉

- | | |
|-------------------------|-------------|
| ①入学する生徒の保護者が町内に住所を有する場合 | 生徒一人につき10万円 |
| ② // 町外に // | // 5万円 |
- ※支払いは5月頃を予定しています。
※①、②の住所要件は3月1日が基準日となります。

2 通学費支援金〈1～3年生対象〉

通学に必要なバスやJRの定期代の2分の1（月額上限5千円）

※定期券を購入していれば支給されます。ただし、「生徒通学費補助制度」との重複受給はできません。

※定期券のコピーまたは購入したことがわかる書類などが必要です。

3 通学困難者家賃等支援金〈1～3年生〉

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| ①町外に自宅がある方で、町内に下宿する場合 | 下宿代の2分の1
（月額上限15,000円） |
| ② // 町内の賃貸住宅に居住する場合 | 家賃の2分の1
（月額上限25,000円） |
- ※賃貸契約書等の書類（コピー）が必要です。

4 進学受験料支援金

大学、短期大学、専修学校等を受験する際の受験料

受験料の実費
（生徒一人につき上限3万円）



質疑応答

Q1)

Q2)

Q3)

Q4)

Q5)

Q6)

Q7)

過去の質疑応答(抜粋)

Q) 美工科のみ希望しているが、第1希望のみ記入でも構わないか。

A) 普通科や商業科でも部活動(美術系)で頑張れるので、第2希望や第3希望を書いておくことをお勧めします。

「美術・工芸科」志願者は必ず第1希望に美術・工芸科をお書きください。定員が少ないため、普通科や商業科で不合格になったとしても美術・工芸科にまわる可能性は低いと思います。

また、第2、第3に普通科、商業科をそれぞれ書いておけば、万が一「美術・工芸科」に合格できなかった場合、部活動で美術の勉強ができますので、志願をお勧めします。

逆に、「普通科」または「商業科」の志願者は、第2志望に「商業科」もしくは「普通科」をお書きください。「美術・工芸科」は授業内容や部活動、進路先も他と全く異なるので、ご注意ください。

Q) 野球部に進学先はあるのか。大学への推薦枠はどのくらいあるのか。

A) 「長崎国際大学」「日本文理大学」「西日本工業大学」などに進学しています。

推薦枠については、年度によって異なりますが、1～2名です。

Q) 美術・工芸科の学費は他の学科より高いが、なぜか。

A) 実技で使用するつなぎ服の費用、画材の費用、県展見学会入場料など、美術・工芸科の授業をする上で、費用がかかるからです。

Q) 入試の合格ラインは公表できるか。

A) 合格ラインを公表することはできません。

Q) 美工科を希望しているが、実技試験は特別選抜のみで、一般選抜では実施しないのか。

A) 一般選抜では実施いたしません。

Q) 面接について。時間、集団か個人、質問数など教えてほしい。

A) 募集要項をご覧ください、時間と面接人数をご確認ください。質問数はお答えできません。

Q) 低学力の生徒への支援はどうなっているか。

A) 波佐見高校では、生徒一人ひとりを、社会人として通用するような人間として成長させることを、校是としており、そのための指導をしています。また、商業科では1クラスを能力別に分けて、教員複数で対応するなどしています。

Q) 大学進学希望者への指導体制を考えていただきたい。(推薦枠等も含む)

A) 現在は希望者への個人指導により行っています。

推薦枠は、各大学から戴いていますが、県立大であれば商業科枠などが使えます。希望者多数の場合は校内選考により決定します。